

**製品名: NQO1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81061**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	31kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NQO1
別名	DTD; QR1; DHQU; DIA4; NMOR1; NMORI
遺伝子 ID	1728.0
SwissProt ID	P15559
免疫原	大腸菌で発現したヒト NQO1 の精製された組み換え断片。

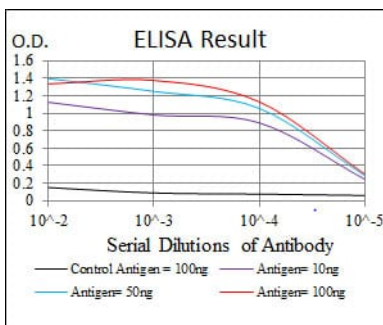
**背景**

この遺伝子は NAD(P)H 脱水素酵素 (キノン) ファミリーに属し、細胞質 2 電子還元酵素をコードする。この FAD 結合タンパク質はホモ二量体を形成し、キノンをヒドロキノンに還元する。このタンパク質の酵素活性は、ラジカル種の生成につながるキノンの 1 電

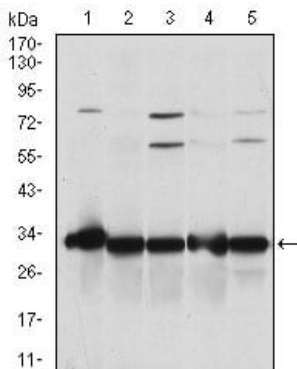
子還元を阻害する。この遺伝子の変異は、遅発性ジスキネジア (TD)、ベンゼン曝露後の造血毒性リスクの増加、および様々な形態の癌に対する感受性と関連付けられている。このタンパク質の発現変化は多くの腫瘍で認められており、アルツハイマー病 (AD) とも関連している。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられている。

## 研究分野

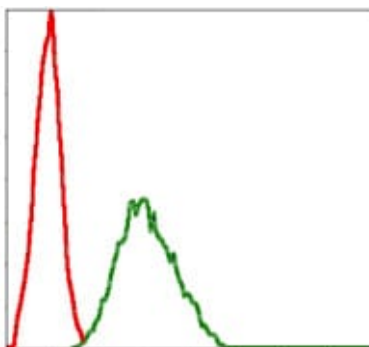
## 画像データ



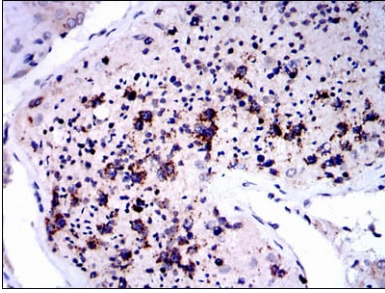
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



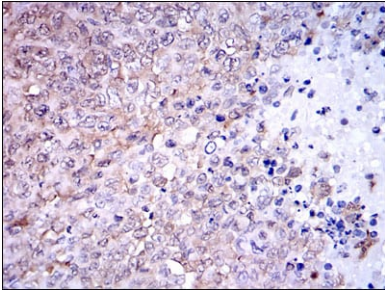
A549 (1)、SKNES (2)、HepG2 (3)、MCF-7 (4)、および Hela (5) 細胞溶解物に対する NQO1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



NQO1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



NQO1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト精巣組織の免疫組織化学分析。



NQO1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。